平成２７年度第４回志木市社会教育委員会議録

平成２８年３月１１日（金）
午後２時～３時
市役所４階第三委員会

出席者　委員：斉藤奈都子、有馬隆江、一ノ倉達也、古田征也、安部　卯内、
星野久江（順不同、敬称略）
市：松井生涯学習課長
生涯学習課　井上主幹　武井主査　松永主任

１　開　　会　井上主幹

２　あいさつ　斉藤奈都子議長

３　協議事項

（１）平成２７年度生涯学習課事業報告及び平成２８年度生涯学習課事業計画について

事務局より報告（平成 27 年度事業報告）

・生涯学習・文化振興事業では、市民文化祭・美術展覧会については、昨年より参加人数が若干下回った。成人式は、参加者については、例年とかわらない人数であった。式典はメリハリがあり整然と行われた。

芸能祭は、例年と同じ時期で開催されたため１，００８名とほぼ同数で推移している。しき子ども郷土かるた大会は、参加チームが増えたため参加者も増えている。

・人権教育事業では、多方面にわたる研修内容のため、参加者はリピーターも多く、充実した研修会となった。

文化財保護事業では、今回はじめて行われた文化財ボランティア、はじめの一歩応援講座では１５名が参加し数名が村山快哉堂管理運営委員会に参加した。志木の遺跡展は、２日間で３６９名が来場し、盛況でした。郷土資料館と村山快哉堂の事業はほぼ例年どおり。

青少年対策事業では、夏及び秋の非行・薬物乱用防止キャンペーンを行い、参加者は例年とかわらない人数。

事務局より説明（平成 28 年度事業計画）

特に新規事業等を中心に説明。
生涯学習・文化振興では、朝霞地区四市が丸沼芸術の森から国内外の著名な画家の作品を無償でお借りして行う「あさか・しき・にいざ・わこう　四市合同丸沼の森コレクション展」を１０月１日から２３日間、四市（朝霞市博物館・ふれあいプラザ・ほっとプラザ・サンアゼリア）で同時開催する。
平成２６年度から実施して３年目を迎える文化体験道場では、小学生から中学生までを対象に、日本の伝統芸能・文化の８種目を文化協会の先生方からご指導をうけてまいりましたが、今回９種目として「剣舞」を入れて体験教室を行う。
文化財保護の、田子山富士塚修復記念事業では、県指定文化財田子山富士塚の修復工事が平成２８年度で完成することに合わせて、田子山富士塚についての講演と、文化交流をすすめる富士吉田市からも講師を招き講演してもらい、あわせて田子山富士塚の見学会を行う。
さらに、富士山文化についての理解を深め、富士吉田市との交流を深めるため、富士吉田市への文化財フィールドワークも行う予定となっております。
放課後こども教室の放課後学習教室は、今年度は、宗小・志木第四小において数学と国語を毎週月曜日に実施しておりましたが、新年度からは宗小・志木第四小に加え、宗岡第二小（月曜日）、志木小（木曜日）においても、事業を展開していく。
青少年対策の、薬物乱用防止啓発講演会「今日一日を生きる君」で志木市在住でライフワークとして薬物乱用防止に取り組む俳優・内谷正文氏による一人芝居「今日一日を生きる君」（体験劇）などを通して、薬物依存症の恐ろしさや、今日一日を一生懸命に生きることの大切さを学ぶ薬物乱用防止啓発講演会を実施を予定している。

（議　長）今の報告について、意見、質問があるか。
（委　員）人権研修会のテーマはいつごろ決めているのか。
（事務局）２か月から６か月前に決めている。
（委　員）南部地区社会教育委員研修会で、他市の社会教育委員から人権教育はあまり積極的にされていないということを聞いた。本市は人権研修会を10回もやっているので、他市からも研修に参加してほしいくらいである。各公民館事業等も含め、市民だけのものか。
（事務局）定員に余裕があれば、他市の市民も受け入れている。
（委　員）親の学習勉強会では本市には、ファシリテーターになっている人もおり進んでいると思う。
（事務局）親の学習の勉強会にご協力をいただいており、対象者は子育て中

の方を中心に勉強会をおこなっている。
（委　員）親の学習勉強会は、いつまで行っているのか。
（事務局）３月の年度末まで行っている。
（委　員）田子山富士塚の保存整備委員会はいつごろ出来たのか。
（委　員）平成２５年から立ち上げられ、平成２６年度から修復のためにかかわりをもって、平成２７年度、２８年度で修復を行う。
また、田子山富士塚の富士山信仰つながりで、富士吉田市と現在交流をしている。
（議　長）それでは、事業報告及び事業計画については、よろしいでしょうか。
（委　員）異議なし。

（２）平成２７年度社会教育関係団体補助金について
事務局より報告（平成 27 年度社会教育団体事業費補助金報告）
（議　長）今の平成２７年度社会教育団体補助金報告について、意見、質問があるか。
（委　員）平成２７年度社会教育関係団体補助金は１６件のみですか。
（事務局）１６件で社会教育関係団体事業費補助金は全てです。
他には、４６団体に運営費補助金を交付しております。
（議　長）それでは、社会教育団体補助金についてはよろしいでしょうか。
（委　員）異議なし。

（３）志木市生涯学習推進指針策定について
事務局より報告（志木市生涯学習推進指針策定）
（議　長）今回の志木市生涯学習推進指針策定の報告について、意見、質問があるか。
（委　員）市民アンケートは、何件出して何件帰ってきたのか。
（事務局）２千件出して７６５件、約４割帰ってきました。生涯学習の存在を知ってもらうことになりました。
（委　員）公民館での講演は、今後も行われるのか。
（事務局）市民の方は、独自に活動している方が多いので、市民の方とのコミュニケーションを増やすとともに、相談を受けたりしていきたい。
（委　員）生涯学習課に○○講演をやってほしいという相談はありますか。
（事務局）活動拠点が公民館になるので、公民館とは調整を行っている。生涯学習課で行う人権研修も公民館で行う人権研修会でも予算面で連携している。
（委　員）人権研修会も内容を見ると、幅広くなっていると思うがどうか。

（事務局）多くの人に関心を持ってもらえるよう、テーマ等工夫しています。
（議　長）今回の志木市生涯学習推進指針策定は、何年の指針ですか。
（事務局）５年間です。
（議　長）全体的にわかりやすくなっているが、社会教育委員は推進指針の中でどういう役割を担っているのか。
（事務局）活動をされている中でいろいろな市民の皆さんのご意見ご提案をいただき、今後の事業展開の参考にさせていただきたい。
（委　員）若い人が入っていただけるものがあったら良いが、若い人は区域を越えて活動しているのではないか。活動はウイークデーですが、部屋が取れない状況である。
（議　長）計画とか指針はどのように作っているのか。
（事務局）第五次志木市総合振興計画などコンサルが入って作成している。他市での生涯学習計画などもコンサルを入れているが、生涯学習課では、予算が取れないので自前で作成しております。
（委　員）社会教育委員会議が、他市では２回のみである。社会教育委員から出た「あいさつ」運動は他市にはなかった。薬物防止の講演会をやっているが他市ではなかった。

４　その他

事務局より連絡事項

・３月２７日　村山快哉堂まつり
・４月２４日　宿組
・次回の会議は６月７日（火）いろは遊学館３階第２研修室　午後２時

５閉　会　斉藤議長